

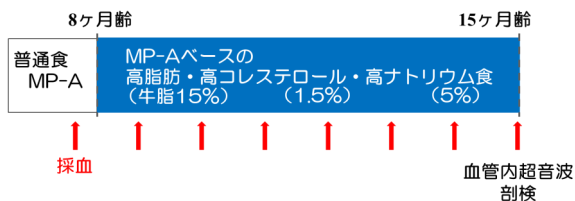
当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

ミニブタを用いた高脂血症モデル

ミニブタはヒトと同様に雑食であり、血漿中コレステロールの組成や動脈硬化病変の性状や分布がヒトと類似しています。今回はミニブタを用いた高コレステロール（Cho）食による動脈硬化症モデルをご紹介します。

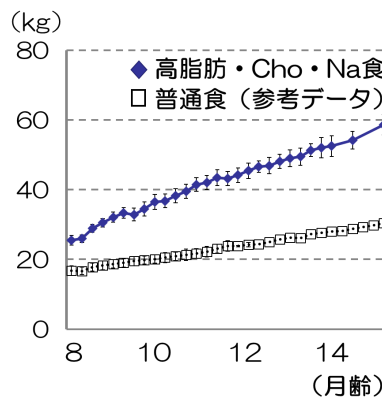
材料・方法

動物： ゲッチンゲンミニブタ雌、6頭
 方法： 高脂肪・Cho・Na食を約7カ月間給餌（800g/day）した

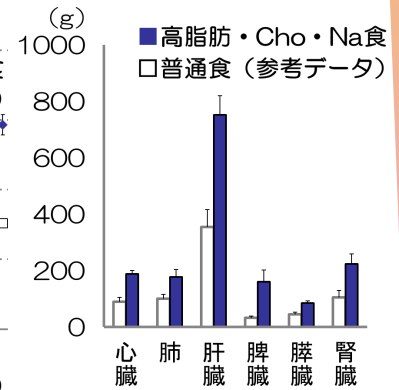


* 結果に示した参考例：普通食（MP-A）を4~600g/day 給餌したゲッチンゲンミニブタ

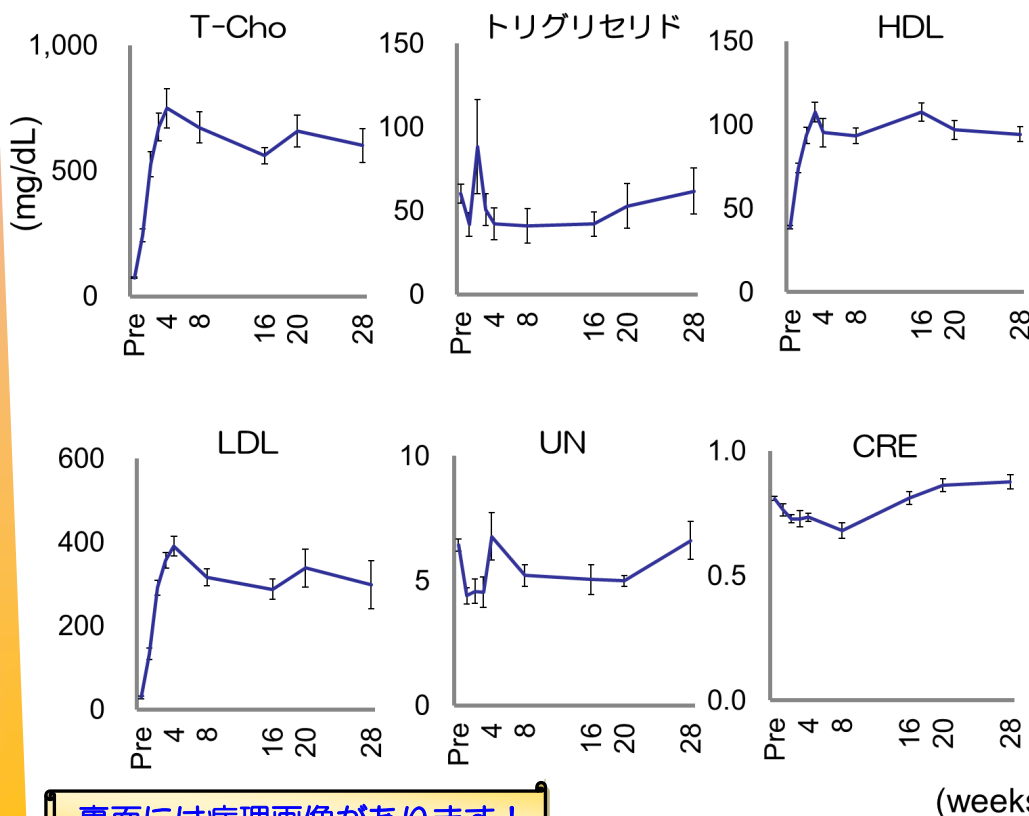
◆体重



◆臓器重量



◆血液生化学的検査



【結果】

複数動脈における動脈硬化病変と肥満性腎症の初期病変が認められた。

裏面には病理画像があります！

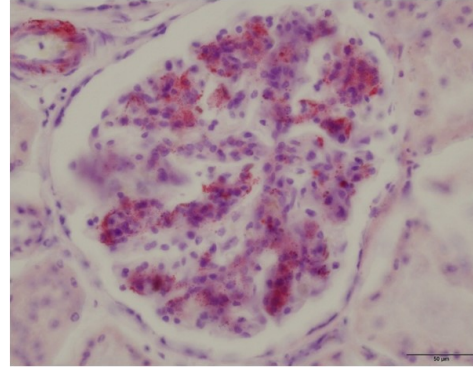
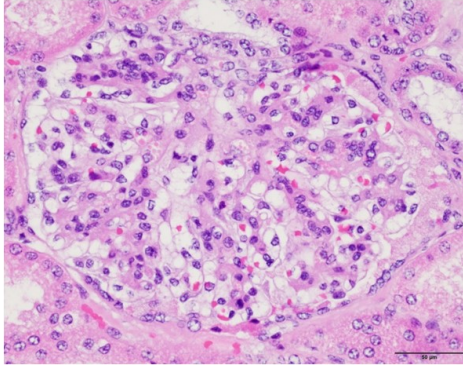


糸球体

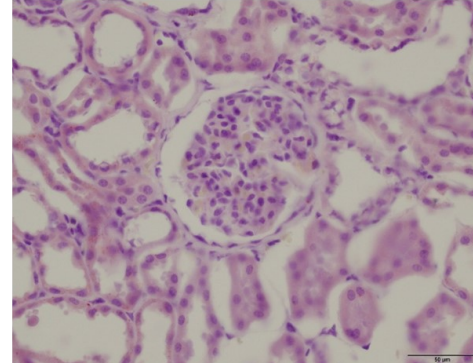
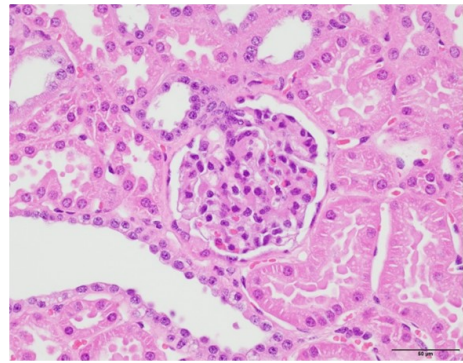
H.E.

Oil Red O

高脂肪・Cho
・Na食



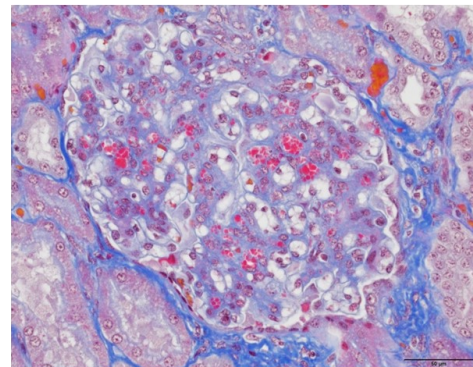
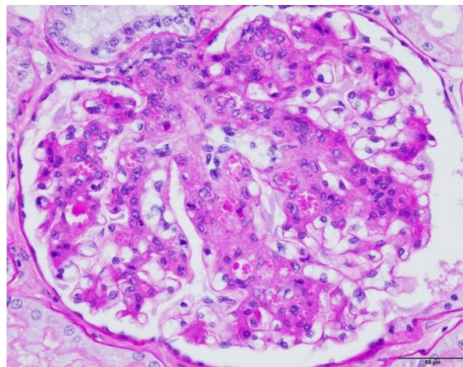
普通食 (参考)



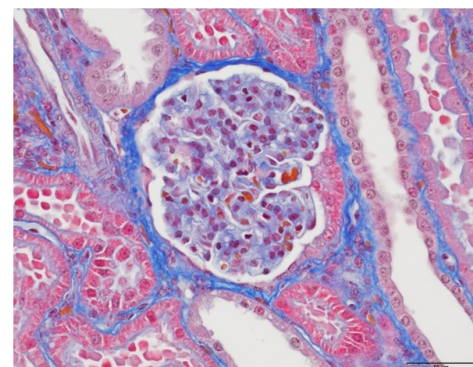
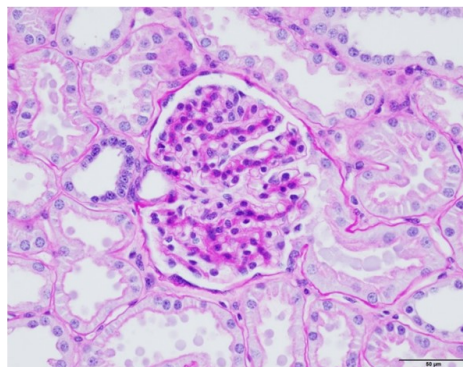
PAS

Masson Trichrome

高脂肪・Cho
・Na食



普通食 (参考)



Bar:50µm

結果

腎臓において、尿細管の好塩基性変化や乳頭部の水腫が認められた。また、糸球体の肥大及び糸球体内に空胞が多く認められ、メサンギウム基質が増加しており、糖尿病性腎症や肥満性腎症の初期病変が認められた。

